

別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 23 年度第 1 回枚方市環境審議会 地球温暖化対策実行計画検討部会
開 催 日 時	平成 23 年 12 月 19 日（月） 17 時 55 分から 19 時 35 分まで
開 催 場 所	枚方市役所 別館 第 3・4 委員会室
出 席 者	部会長：三輪委員、副部会長：増田委員 稲森委員、今田委員、田中みさ子委員、野田委員、丸井委員、水内委員、水丸委員、（会長）浅野委員
欠 席 者	田中久雄委員
案 件 名	1. 部会長・副部会長の選任について 2. 審議スケジュールについて 3. 地球温暖化対策実行計画の策定に向けて
提出された資料等の 名 称	資料 1 地球温暖化対策実行計画の策定に向けた スケジュール（案） 資料 2 地球温暖化対策実行計画の策定に向けて 参考資料 1 枚方市環境審議会地球温暖化対策実行計画検討部会 委員名簿
決 定 事 項	・部会長、副部会長を選任した。 ・部会の会議録は発言者が明確に特定されないように配慮し、公表する。
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	1 人
所 管 部 署 （ 事 務 局 ）	環境保全部 環境総務課

審 議 内 容

<開 会>

事務局： 定刻となりましたので、ただ今より平成23年度第1回枚方市環境審議会地球温暖化対策実行計画検討部会を開催します。委員の皆様方にはお忙しいところ、本部会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の出席委員数は9名で、2分の1以上の委員に出席いただいておりますので、枚方市環境審議会規則第4条第2項の規定に基づきまして、本部会が成立していることをご報告申し上げます。また、本日の傍聴者は1名となっております。

次に、資料の確認をさせていただきます。

(資料確認)

続きまして、本日の部会は、第1回目の部会となりますので、委員の皆様をご紹介させていただきます。こちらからお名前をお呼びいたしますので、よろしくお願いいたします。

(各委員の紹介)

なお、本日は田中久雄委員が欠席されております。

次に、市の職員の紹介をさせていただきます。

(市出席者の紹介)

現時点におきましては、部会委員就任後、初めての部会であり、部会長、副部会長が不在の状況にありますので、部会長、副部会長が選任されますまで、事務局の方で議事を進めさせていただきます。

<案 件>

事務局： まず、部会長及び副部会長の選任をお願いしたいと思います。枚方市環境審議会規則第5条の規定に基づき、部会長及び副部会長の選任は、委員の互選によるものとされております。どなたか、立候補、ご推薦はございませんでしょうか。

おられないようですので、大変恐縮ですが、事務局からご指名させていただきます。それでは、三輪委員に部会長を、また、増田委員に副部会長をお願いしたいと思いますと考えております。ご異議なければ、拍手をもって、ご承認いただけますでしょうか。

(拍手)

それでは、部会長には三輪委員、副部会長には増田委員にご就任をお願いいたします。

それでは、ここで代表して三輪部会長にご挨拶をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

部会長： これから5回から7回程度、部会を開催することになりますが、枚方市にとって本当に素晴らしい計画となるよう、頑張らせていただきますので、皆様、最後までどうぞよろしくお願いいたします。

事務局： ありがとうございます。それでは、これからの議事進行につきましては、三輪部会長にお願いいたします。

部会長： まず、本部会での会議録の取り扱いについて、決定させていただきたいと思います。先ほどまで開催しておりました本審議会では、審議会終了後、会議録の案を作成していただいて、各委員の確認を得てから、正式な会議録として、行政資料コーナーあるいはホームページで公開されることになっております。基本的には、本審議会と同様に会議録を取り扱うことになりますが、何分、より活発な議論を行うために、発言者が明確に特定されないように配慮した方がいいかと思いますが、いかがでしょうか。

各委員： (了承)

部会長： それでは、案件2「審議スケジュールについて」事務局から説明をお願いいたします。

事務局： (資料1について説明。)

部会長： ありがとうございます。ただいまのご説明について、ご意見等はございますか。

委員： スケジュールでは、来年の5月に部会と審議会を開催することになっていますが、どちらが先になるのでしょうか。目標・施策の検討を行った後、中間報告として審議会に報告することになるのか、それとも3月の排出量の推計までを審議会に報告することになるのでしょうか。もう一つ、アンケートについてですが、実施することでこういった情報を得て、どのように計画に反映させていくのか、使い勝手のいい形にしていく必要があります。アンケートは実施したけれど、結果をなかなか使えないといったことがあります。そのあたり、現時点で構いませんので、どのようにお考えになっているのでしょうか。

部会長： 一つ目のご質問、来年の5月の部会と審議会をどちらが先に開催するかによって、内容が違ってくるということですが、事務局はどのようにお考えでしょうか。

事務局： 5月の中間報告につきましては、今年度中に予定しております排出量の将来推計までをとりまとめて審議会に報告させていただきたいと考えております。

部会長： 先に審議会を開催するような感じでしょうか。そこで、排出量の将来推計までをとりまとめて報告するということですね。もう一点のアンケート調査の内容についてのご質問ですが、資料2で事務局から説明があると思いますので、そのときでよろしいでしょうか。

他に何かありませんでしょうか。

副部会長： 大阪府全体の目標設定や施策の検討などは、どのように進んでいるのでしょうか。

委員： 先ほどの審議会の資料で、国や大阪府の計画との整合というものがありました。多くの自治体は平成 22 年度に策定、または平成 22 年度に策定に向けた作業を開始しており、2020 年に 25%削減を目標としている所が多くなっています。大阪府では、平成 23 年度中に計画を策定することにしていますが、原発や京都議定書の問題など、現状では 2020 年までの見通しを立てるのは非常に難しくなっています。ただ、地球温暖化対策を止めるわけにはいきませんので、6 月に大阪府の環境審議会に諮問し、11 月に答申をいただきました。大阪府では、3 年程度の短期の計画で、当面実施すべき取り組みを書き込んでいく予定にしています。今年 3 月に策定しました新環境総合計画では、2020 年に 25%削減を目標に掲げていますので、それを念頭に置きつつ、計画の素案を調整しているところです。細かい点で整合性を取るのには難しいと思いますが、方向性や考え方、現状認識を踏まえてどのような方向でいくのか、その点で整合性が取れていればよいと思います。

部会長： それでは、案件 3「地球温暖化対策実行計画の策定に向けて」事務局から説明をお願いいたします。

事務局： (資料 2 について説明。)

部会長： ありがとうございます。ただいまのご説明について、ご意見等はございますか。

委員： 資料 2 の 1 ページに長期的な到達点として 2030 年度に 50%削減と書いてありますが、排出量について、2010 年度の状況はわかっているのでしょうか。

事務局： 統計データが整っていないため、2010 年度の排出量の状況はわかっていません。ただし、国全体での排出量は速報値ということで公表されております。それによりますと、2010 年度では若干増加しており、枚方市でも同様の傾向かと思われ。その原因といたしまして、リーマンショック後の景気後退からの回復のため、製造業を含む産業部門で増加していることが考えられ、また、猛暑厳冬でエネルギー消費量が増加したことがあげられます。

委員： 景気がよくなると排出量が増加するというのを、どう考えていくのが課題となってくると思います。

事務局： 委員のおっしゃるとおりでございます。これから、排出量の将来推計を考えていくこととなりますが、そのあたりをどのように考えていくか、皆様にいろいろご議論していただくことになるのではないかと認識しております。

委員： 将来的には、人口が減っていくと思われまので、そのあたりも踏まえながら、排出量の将来推計は考えていかなければならないと思います。

部会長： 他にありませんでしょうか。

委員： アンケート項目についてですが、景気や人口、原発、京都議定書などの問題もあるでしょうが、もっと平易な言葉で市民がどう考えているのかを聞いてもいいのではないのでしょうか。身近な事だけではなく、より大きな枠組みとして、日本や大阪府に対する考え方も整理していくのがいいと思います。

副部会長： アンケートのやり方ですが、経年的にどれくらい変化しているかがわかる項目があってもよいのではないのでしょうか。また、今年は3.11があった影響で、節電に対する興味や関心が高まっていると感じています。ある市の婦人会を集めたところ、席が足りないうらい皆さんが集まって、どうやったら夏を涼しく過ごせるのか、節電の効果があるのかなど、積極的な意見が出てきていました。年齢によって、節電に対する関心や行動が異なってくると考えられますので、今年の節電対策について、どう行動したのかなど、年齢によって違いが見えるようなアンケートにしてもいいのではないのでしょうか。

委員： 委員がおっしゃられましたように、この先どうなっていくのか、大きなスケールで皆さんがどう考えているのかという項目があった方がいいと思いますが、資料2の3ページに「認知度」って表現していますが、聞き方が非常に難しいかもしれません。

委員： 全体の流れをどう捉えるのかという質問と、市民として何ができるのかという質問のウェイト配分が重要だと思います。

委員： アンケート調査の対象サンプル数の市民2,000人、事業者100社というのは妥当なのでしょう。100社だと、色々な業種から満遍なくというわけにもいかないのではないかと思います。

会長： 事業者200社にしてはどうでしょうか。

事務局： 市民2,000人はある一定妥当性のある数字であると考えております。事業者100社については、再度検討させていただきます。

委員： 今回、実行計画を策定していくにあたって、理想論かもしれませんが、現計画よりも少し踏み込んだものを記載することで、もっと市民に実行してもらうための計画にしていきたいと考えています。もしそういった方向性でも考えていくのであれば、過去と未来に対する意識をアンケートの中で聞くのもいいのではないのでしょうか。また、アンケート調査は、実態を把握するだけでなく、啓発的な効果もあると思います。

事務局： 委員がおっしゃられましたとおり、市民にできることがあれば、計画に盛り込んでいくことは大事なことでと考えております。計画の施策に何を盛り込むのかについては、いろいろと議論があるところだと思います。

ので、そのこのところを念頭に置きながら、しっかりと検討を進めていきたいと考えております。

部会長： 他にご意見はございますか。

副部会長： 排出量の現況推計や将来推計をするとき、排出係数が大きく影響してくると思います。今年の3.11以降、排出係数が変化することも考えられますので、今後の部会において、排出係数がどのように変化してきたのか、そして将来どのような数値になっていくのかについての資料が参考程度で構いませんので、あればいいかなと思います。

委員： 現計画の計画期間は平成19年度から平成24年度までとなっていますが、今回策定する実行計画も平成25年度から平成29年度までの5年間を予定しているのでしょうか。それとも、計画の期間や目標年度など、基本的なフレームもこの部会で議論していくことになるのでしょうか。

事務局： 計画の期間については、現時点では、具体的に申し上げられませんが、いずれにいたしましても、策定する計画は社会情勢の変化等に応じて、適宜見直せるようにしていきたいと考えております。

会長： ところで、審議会の委員の役割とは一体何なのか、個人的に考えたりすることがたまにあるのですが、長期的にはこういう方向を向いていくべきなのではないか、そして、短期的にはこういうことをしていくべきではないのかという強い思いをもう少し出してもいいのではないかと思います。そういった思いは、委員の皆様、一人ひとりが抱えていることとは思いますが、そのことをきちっと議論していくことも大切なことではないかと思います。

部会長： 会長から根本的なご意見をお伺いいたしました。実際にいろいろな市を見てみますと、例えば、地球温暖化の計画に経済活性化に関する要素を盛り込むべきという市もあります。これは、行政からの意見ではなく、審議会のような場から出てきた意見です。市全体の代表者のような立場として、各委員の思いが意見として湧いてくることによって、市にとっての個性が出てきます。実行計画を策定して、それが動きだすときには、行政だけではなく、私たちの生き方にも返ってくることもありますので、市から委嘱された審議会委員として、いろいろな意見を出していくことができればと思います。

事務局にお聞きしたいのですが、アンケートについては、本日の会議で議論してしまわないと、次回の部会では配布後になってしまうのでしょうか。

事務局： アンケートの配布時期は、1月の下旬から2月の上旬を考えておりますので、アンケートの案ができた段階で、各委員にメール等でご意見をお伺いすることを考えております。

委員： 現計画のような形でしたら、まとめようとすれば、まとめることができ

るかもしれませんが、もう少し審議会の委員としての思いを前面に出していきべきだと思います。

会長： 昨年度、環境基本計画の策定について、市長から諮問を受けて、限られた時間の中で、いろいろと審議をし、最善を尽くしてきたと思います。その際に、もっとこうしていけばよかったという思いが各委員の中にあると思いますが、今回は、前回の審議経過を踏まえて、枚方市の思いに各委員の意見が一番いい形で反映することができれば、いいのではないのでしょうか。アンケートについても、可能な限り各委員の思いをいい形でまとめることができたらと思います。

委員： アンケートの内容について、もう少し議論をさせていただきたいと思います。

事務局： 1月中旬から下旬にかけて部会を開催させていただけるなら、それまでに案を作成し、それに対して議論させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員： 賛成です。今の話の流れからいきますと、メールだけで総括するのは難しいような気がしますので、1月中旬から下旬にかけて部会を開催していただけたらと思います。

部会長： では、1月中旬から下旬にかけて部会を開催する方向で進めさせていただきます。

委員： 計画の内容に、私たち委員の意見がどのように反映されるかについては、非常に気になるところです。現計画よりも内容をさらに充実させ、枚方市に関係しているすべての方が率先して地球温暖化対策に取り組み、全国に発信できるようなものになればいいと思います。

委員： 枚方市には事業者が主体の地球温暖化対策協議会があるとお聞きしましたが、どのような活動をされているのか、この部会でご報告いただけますでしょうか。

事務局： 次回の部会で報告させていただきます。

委員： 施策の総括ということで、2月に議論するスケジュールとなっていますが、これまで市民や事業者とともに進めてきた取り組みを教えていただきたいと思います。

また、地球温暖化の問題は地球規模のものなので、数値の設定や市が主導することももちろん大切だと思いますが、どんな結果になろうとも皆さんが頑張ろうと思える内容にしていけるように議論していければと思います。

委員： 第1回の審議会において、これまでの地球温暖化対策の取り組みが報告されましたが、市民がどの程度知っているのかが気になります。報告書で見ても納得するだけではなく、活動そのものにどれだけ関わっているかが重要だと思います。こういった取り組みをしていきたいと思いますという投

げかけがあったときに、実際に参加する市民になっていただくことが大切だと思います。

委員： 昨年度の環境基本計画の審議の際に、市民力という言葉が出てきましたが、このことが今回も大きく問われていると思います。アンケート調査を実施するとのことですが、このままだと議論が不十分なまま、方向性が決まってしまうことになると思います。アンケートのスケジュールが気になります。

委員： アンケートを2回にわたって行うのはできないのでしょうか。これまでの議論を踏まえたと、1回目のアンケートでは現計画の評価に対して実施し、その後の4月以降に次の計画に向けての意見を聞くということも考えられると思います。

事務局： 確かにアンケートを2回に分けて実施するのもあるかとは思いますが、調査対象が異なってくることも考えられますので、そのあたりのことも踏まえて、議論していただければと思います。先ほども述べさせていただきましたが、1月上旬にアンケート案を作成させていただきまして、1月中旬から下旬にかけて開催いたします部会において、報告させていただきたいと思っております。

部会長： 部会としましても、1月に提示していただけるアンケート案について、しっかりと議論をしていくということでよろしいでしょうか。その他にご意見等、ございますか。

委員： 現計画に温室効果ガス排出の少ない都市構造の実現や温室効果ガス排出の少ない交通体系の形成がありますが、都市計画マスタープランとの整合性は取れるようにしているのでしょうか。

事務局： 枚方市の都市計画マスタープランは昨年度に策定いたしました。地球温暖化対策にも対応しているものとなっております。したがって、都市計画マスタープランと今後策定します地球温暖化対策実行計画との整合性の問題は生じてこないと思われま。

委員： 現計画の中で、自転車利用の促進という項目があります。例えば、自転車道の整備についても、この項目に関連してくることが考えられますが、現計画においては、あまりそういった内容は書かれていないのではないかと思います。そういった面では、実効性にやや不安が残るような気がします。

事務局： 都市計画マスタープランの中にも、市として決定していない事項は、なかなか盛り込むことができません。自転車道についても、自動車道の整備が進んでいないものもありますので、正直難しいところがありますが、方向性などについて、実現可能性も精査しながら、可能な限り、地球温暖化対策実行計画に盛り込んでいきたいと考えております。

部会長： 都市計画マスタープランの内容について、情報提供をお願いできますで

しょうか。

事務局： 都市計画マスタープランの内容がわかる資料を今後提供させていただきます。

委員： 昨年度に審議会で議論しました環境基本計画では、方向性も含めて、いくつか重点施策を提案させていただきました。今回は、実行計画ということで、もっと踏み込んで重点施策などを審議会として考えていくことができると思います。どんなまちを目指すのか、重点施策の中で示さなければならないと思います。

委員： 市民の中には、地球温暖化していること自体に否定的な方もいらっしゃいます。そのような方にも、どのように訴えかけていくのかをじっくり考える必要があると思います。

副部長： 施策の検証では、市民が何に取り組んできたのかわかるようにし、次への推進力となるようにして欲しいと思います。例えば、今年の夏の節電により、東京では都市部の最高気温が 0.6℃程度抑えられ、大阪でも 0.48℃程度抑えられました。このように、ヒートアイランド現象が自分たちの節電の取り組みによって、効果が数値ではっきりと現れていますので、市民に対してこういった情報の示し方もあるのではないかと思います。

また、ヒートアイランド対策が地球温暖化対策につながり、逆に地球温暖化対策がヒートアイランド対策につながるといったことも考えられますので、日本一暑い枚方市を、日本一住みやすい枚方市にするための施策を考えてみるというのはどうでしょうか。

会長： 市民にとって、50%削減や 80%削減の目標は、無理だと捉えられかねません。また、その数値にそこまで意味があるとは思えません。そういった数値的なことよりも、住みやすい・過ごしやすい枚方市にしていくための具体的に施策を検討していくことが重要だと思います。

委員： 現計画の名称は地球温暖化対策地域推進計画、今回策定する計画の名称は地球温暖化対策実行計画となっていますが、何か違いはあるのでしょうか。

事務局： 計画の名称は、法律上の名称をそのまま持っているものですので、名称による違いはありません。

委員： 実際に何かをやってみようというようなものがあってもいいと思います。数値目標などについて議論するということはもちろんですが、アイデア出しをするような時間があってもよいのではないのでしょうか。そういった中で、計画の大枠をボトムアップで考えていくのもいいのではないかと思います。

委員： 今回の計画の期間は、まだ決まっていないということですね。現在の社会情勢は流動的であり、なかなか決まらないことも多いですが、3.11

以降に日本という国が置かれている状況が変わってしまったことは事実です。特にエネルギーについては変わらざるを得ない状況です。日本全体が変わってしまったという事実に対して、市民にどう向き合っていくのかは、私たちに与えられた命題だと思います。市民の立場では、景気が良くなって欲しい、渋滞を解消して欲しいなど、身近なことが大事になってきますが、これからはその延長線上で考えていくことができない状況になっていると思います。市民に対して、そういう厳しい投げかけができるような計画にはしてはいかがでしょうか。

委員： 例えば、エコドライブに関して言えば、どのようにエコドライブを市民に意識してもらい、実行してもらうのかなど、具体的なことまで現計画には書かれていません。今は、省エネや環境に対して、皆さんの関心が高まっているところなので、それをもっと上手く引き出して具体化させていくように持っていくことができればと思います。

部会長： 多くのご意見が出てきた中で、いくつかポイントとなるようなものが見えてきたのではないかと思います。例えば、市民にすべきことを示す計画にするという方向性もありますし、市民が喜びを見いだせるような計画にするという方向性もあります。

都市によっては山間地が多い所もあり、高齢者に対する公共交通の提供の問題が出てきています。そういう地域においては、公共交通を保証しながら、二酸化炭素排出量も減らしていくという二つの問題を同時に抱えてしまっています。都市形態にも関連してくることもなり、自然特性や都市形態に応じた市の特色をあわせて考えていく必要があると思います。

本日のご意見を整理させていただいた上で、そういったところを踏まえながら、次回以降、もう一度話し合っていきたいと思います。

<閉 会>

部会長： 次回の部会ではアンケートについて議論いたします。日程は、1月中旬から下旬での開催としたいと思います。

それでは、本日の地球温暖化対策実行計画検討部会を閉会いたします。皆様、ありがとうございました。